

## 2020 年度若手研究者アンサンブルグラントの公募について

東北大学研究所長会議 代表  
学際科学フロンティア研究所 所長 早瀬 敏幸

研究所若手アンサンブルプロジェクトWG リーダー  
材料科学高等研究所 甲斐 洋行

東北大学附置研究所若手アンサンブルプロジェクトでは、学内の若手研究者による連携を促進するために、複数部局の研究者で構成された共同研究グループへ研究費を配分いたします。本研究費は、全研究領域を公募対象とし、個人の自由な発想に基づく部局間連携によって生み出される萌芽的な学術研究課題に対して助成を行うものです。

新たな研究のスタートアップ、あるいはこれまでのテーマの幅を広げる新展開への試行を奨励する課題を公募します。若手研究者による応募を歓迎しますが、共同研究者として研究グループへ参画する方については、要項に記載された所属の要件を満たしていれば、身分等は問いません。新しい着想や視点（研究内容はもちろん、他部局設備の利用による研究の効率化なども対象となりえます）を基に、積極的な応募をお待ちしております。

## 公募要項

### 1. 対象研究グループ

本学の**複数部局(研究所, センター, 研究科等)**に所属する教員・研究員で構成される研究グループ

申請者(研究代表者)の対象は、東北大学附置研究所・センター連携体の各部局に所属するポスドク, 助手, 助教, 講師, 准教授(特任・特定を含む)とします。特に若手研究者の応募を歓迎します。研究代表者以外の共同研究者については、職名・身分の制限はありませんが、学生の卒業・修了などにより、複数部局のグループが研究期間の大半に構成されなくなる見込みが明確な場合は、対象とはなりません(後期課程などへ進学希望, ポスドクとして在籍予定などの場合は対象とします)。

\*ここで「東北大学附置研究所・センター連携体の各部局」とは、金属材料研究所, 加齢医学研究所, 流体科学研究所, 電気通信研究所, 多元物質科学研究所, 災害科学国際研究所, 東北アジア研究センター, 学際科学フロンティア研究所, 材料科学高等研究所(AIMR), 電子光理学研究センター, 未来科学技術共同研究センター(NICHE)を指します(以下, 同じ)。

\*なお本公募では、兼任・兼担などの場合(学際研のメンター制も含む), 在籍するあるいは主な活動拠点である東北大学附置研究所・センター連携体の各部局に所属する研究者とグループを構成しても、それ自体では複数部局とはみなされません。

\*申請者(研究代表者)は、上記の各部局のいずれかにおいて本学の予算管理システムを使用可能であることが必須です。

\***応募は1人1件のみ(研究代表者・共同研究者あわせて)**とします。

### 2. 研究内容

複数の部局間で連携する研究

\*全領域の研究を対象とします。異分野融合研究, 学際研究が必須条件ではありません。

### 3. 採択決定時期と研究期間

2020年7月中旬頃に採択課題を決定します。研究期間は2020年7月1日(予定)から2021年3月31日までとします。

### 4. 来年度の研究継続

(i)本年度の採択課題のうち希望するグループ, および (ii)新たに申請された研究課題を対象に, 2021年2月頃に開催予定のシンポジウムにおいて参加者全員と世話教員によるピアレビューを行い, 来年度の継続課題(研究期間:2021年4月~2022年3月, 研究費上限100万円)として2~3件程度を採択する予定です(2021年3月頃)。また来年度もこれらの審査採択課題に加えて, 15件程度の新規課題(研究期間予定:2021年7月~2022年3月, 研究費上限50万円)を採択する予定です。なお, 同一課題での継続は

1 年度まで(新規採択1年度+継続1年度)とします。

## 2020, 2021年度アンサンブルグラント

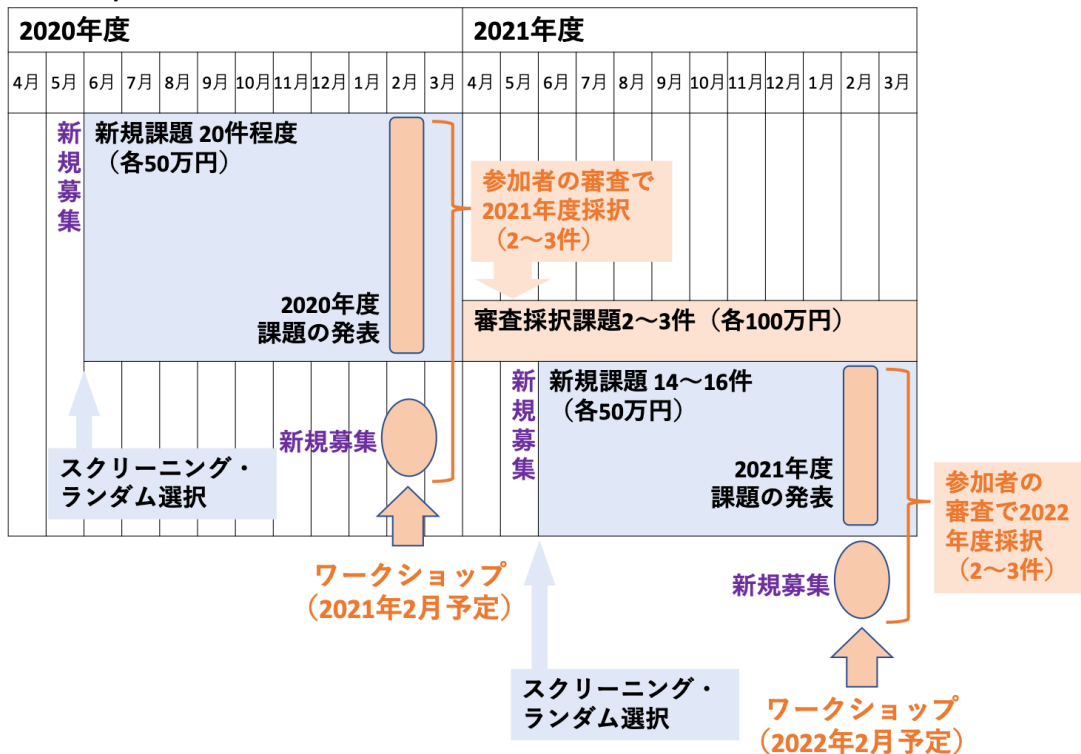


図1 採択プロセスと研究期間

### 5. 支援内容

50 万円を上限として研究費を支給します。研究費は採択件数によって減額されることがあります。採択後一定の期間を経て、研究代表者の所属する東北大学附置研究所・センター連携体の各部局に対し、本年度の世話部局である学際科学フロンティア研究所から配分されます。

### 6. 応募方法

所定の書式を用いて申請書を作成し、PDF に変換のうえ、締切日までに研究代表者が下記 URL のフォームより送信してください。

<https://forms.gle/yMVvffCC31kLgYkU7>

**締切日:2020年6月12日(金)**

異なる書式によるもの、あるいは提出期限をすぎたものは受理されません。

### 7. 採択件数

20 件程度

## 8. 選考

萌芽的な研究を発掘し多様な研究を支援するために、研究内容についてスクリーニングをWGで行ったうえで、20件程度をランダムに採択し、研究所長会議で決定します。

申請内容のスクリーニングでは、下記のいずれかに該当する申請は採択の対象外となります。

- ・募集要項を満たしていない申請
- ・以前採択された研究と同一または酷似する内容の申請
- ・最低限の研究内容が示されていない申請
- ・必要経費内訳に正当性の無い申請

## 9. 報告

研究期間終了後、所定様式の成果報告書の提出が義務づけられます(成果報告書の内容は若手研究者アンサンブルのウェブサイトで学内限定公開されます)。また、本年度中に開催予定のシンポジウムで研究の着想と成果を発表していただきます。なお、成果の公表の際には、本公募プログラムの支援によるものであることを記載してください。

## 10. 取り扱い

安全衛生管理ならびにネットワーク管理、研究不正防止、法令順守などについて、本学ならびに所属部局にて実施運用しているすべての規則・指導に準拠して研究を実施していただきます。なお、これらを逸脱していると判断される場合には支援を中止させていただきます。

## 11. その他

本公募に関しご不明な点は、

- ・ 材料科学高等研究所 甲斐洋行助教 [kai@tohoku.ac.jp](mailto:kai@tohoku.ac.jp)
- ・ 学際科学フロンティア研究所鈴木特任准教授(URA) [suzukik@fris.tohoku.ac.jp](mailto:suzukik@fris.tohoku.ac.jp)

までご照会ください。

## 申請書の書き方について

申請書は適宜字数を調節して1～2 ページに収めてください。

### 1. 研究組織

本学の複数部局(研究所, センター, 研究科等)に所属する教員・研究員・技術職員で構成される研究グループとしてください。これ以外に, 分担者であれば学外者を含んでも結構です。研究代表者名の前に, ◎を付加してください。

### 2. 研究経費

研究経費は設備費, 消耗品費, 旅費, 謝金・人件費で本研究の遂行に必要なものに限ります。(研究室運営のための経費や, 他の研究の経費として計上することがふさわしいと考えられる支出は認められません。)

### 3. 他の研究費申請について

本グラントは他の研究費との重複申請を制限しませんが, 他研究費に制限がある場合には, 考慮のうえ申請してください。